

臨床教育のグッドプラクティスを探せ！

■オーガナイザー



オーガナイザーとして

小林直人

(愛媛大学 教育・学生支援機構 教育企画室長、愛媛大学 医学部 総合医学教育センター長・教授)が担当。

昭和 63 年3月東京大学医学部医学科卒、博士(医学)。平成 17 年度、愛媛大学 医学部 総合医学教育センター長に就任。平成 21 年度より愛媛大学教育・学生支援機構副機構長と教育企画室長を兼任。医学教育にとどまらず、大学全体のFDをミクロ・レベルからマクロ・レベルまで幅広く担当。

■プログラム概要

医療福祉系学部では、高学年次には必ず患者のベッドサイドでの実習が行われますが、臨床現場での実習のカリキュラムを構成したり、学生実習の成績を評価したりすることは容易ではありません。しかし、臨床現場での学びが学生にとって最も重要であることには疑いの余地がありません。

本プログラムでは、SPOD加盟の医療福祉系大学・学部から参加者を募り、臨床教育カリキュラムについて情報を共有します。また昨年度に引き続いて、実習の評価を具体的にどう行ったらよいか、評価結果を実際に学生にどのようにフィードバックしたらよいか等について、医学教育に関する報告(文部科学省先端の大学改革推進委託事業「医学・歯学教育の改善・充実に関する調査研究」2010-2011)をもとにして議論したいと思います。

実際に臨床実習・臨地実習の指導にあたっている教員の方々はもちろん、実習のカリキュラムの構築に当たっている教職員の方々、臨床現場の医療職の方々の参加も歓迎します。四国の知恵を結集しましょう！

なお、参加される際に、ご自分の大学等における臨床教育の資料(シラバス、ポートフォリオ、評価ツール、など)をご準備下さい。

■主な受講対象

医療系の学部でカリキュラムの構成を担当されている教職員
臨床実習や臨地実習を実際に担当されている教員や病院職員

■本プログラムの到達目標

1. 医療福祉系の学部教育における臨床教育の意義と問題点を列挙できる。
2. ベッドサイドでの実習の成績を評価するための到達項目を列挙できる。
3. 学生の形成的評価のためのツール(評価シート)を試作することができる。
4. 自身が所属する機関において、学生実習の形成的評価を行うことができる。

■日時・会場・受講定員

日 時 : 平成24年8月23日(木)11:00~13:00

会 場 : 徳島大学 常三島キャンパス 共通教育4号館 3階 4-302教室

定 員 : 60名